


金沢こころの電話

ほっとライン

No.118

金沢こころの電話
ご相談は...  222-7556

シルバーこころの電話
 260-7272

危機の時代を生きる

公益社団法人金沢こころの電話

会長 村田 進



今年度の事業の充実を目指して

私が就任して第1期目(2年間)が終わり、新たな体制で第2期目をスタートするに当たり、ご挨拶の言葉を述べさせていただきます。

この2年間は、第1派のコロナ禍が世界的に始まり生活習慣が見直され、ワクチン接種がなされるなど対策が講じられる一方、大波が過ぎ去ったかと思いきや、また、新たな変異株が次々に見つかり、昨年から今年度は、第5・第6波に引き続き終息のメドが未だに立たない現状です。このような中で、「金沢こころの電話」は、地域の「緊急事態宣言」や「蔓延防止重点措置等」の制約下において、厳密な安全対策や予防措置を講じながら、そこに起因する経済問題やそこから派生してくると予想される自殺の問題に対応すべく電話による相談の灯をともし続け、かけ手の心の緊急事

態を何とか乗り越えることができました。そして、元々いわゆる「リモート」であるという性格上対面になる機会が回避しやすかったことも手伝って、大雪のために夜の「コマ」の時間帯の中断を余儀なくされた以外は無事に、今日に至っているのは、会員相互の日頃の思いやり行動と自己管理の徹底が行き届いていたからと感謝申し上げます。

また、賛助会員の皆様や、石川県・金沢市などの助成金や赤い羽根共同募金会やまた各メディアによる情宣活動のご支援等は、金沢こころの電話の原動力となつて私たちを社会の「ヨコの糸」に並び結び付けられていることに思い至ります。そのような日頃のご支援を痛感しここに改めて感謝申し上げます。

警察庁の全国的な調べでは、本県の昨年度の「自殺者数」と全国的調査結果の割合が、一昨年度を若干下回り、自殺率では、神奈川県に次いで全国2番目に低かったと言われています。

46年目を迎える金沢こころの電話もその影の力となつて、ことを期待して、それを今後の50周年を迎えるこれからの私たちの活動の励みとして行きたいと思っております。

その一環として、今年度の重点目標の一つに、会員数の増加とその質の向上があげられていました。先日、約1年余りの養成講座を修了し、認定を受けた10名の相談員の誕生は嬉しい限りです。新聞やテレビで取り上げられた私たちの活動のPRが実を結んだものと思われます。このメンバーは、やがては私たちの活動を中心で支える人材となることを、本年度の金沢こころの電話の認定式のあいさつでも述べさせていただきました。メンバーの晴れ晴れとした爽やかな笑顔は、私たちの未来を象徴しているものと実感しました。

私は、その時のあいさつで、今、進行しているロシア・ウクライナ戦争の当事者の心と命を傷つけている現状に鑑みて、今こそ「目に見えない価値」の尊さと「いたみ」を知り、「いたわり」の心を育てることの大切ではないかと問いかけました。

中島みゆきの「糸」の歌詞に因んで、私たちは、電話の「糸」(ライン)でつながれているこ

と、「縦の糸はあなた、横の糸はわたし」のようにともにつむぐ関係性として目に見えないながらもつながれていることを問いかけました。私たちは、個人とローカルな社会、ひいては世界と目に見えない糸で結ばれていることを象徴する歌に聞こえます。しかし、それが「ヨコの糸」だとすれば、カウンセリングで大切なのは、もう一つの「タテの糸」ではないでしょうかと新会員に語りかけました。

すなわち、これからの電話相談に真に必要なものは、「本音」と「建て前」を使い分けずに、自分の「本音」を受け入れて相手に伝える誠実さが大切です。クライアントが自分のことを本音で語り腑に落ちる「共鳴」になるのではないかと、今後の目標として語りかけました。それを「自己一致」と称し、カウンセリングの「真骨頂」、すなわち究極の目標ではないでしょうかと結びました。このよ



第46期生 認定式

令和4年3月21日(月・祝)金沢市教育プラザ富樫



コロナ禍であっても晴れやかな会場に

◆◆誓いのことば◆◆

本日、私たち46期生10名は養成講座を終了し、金沢こころの電話相談員として認定式を迎えることができました。養成講座に携わっていただきました皆様方に深く御礼申し上げます。

今こうしてこの場に立ちますと、ひとつの新聞記事から「金沢こころの電話」の電話相談員のことを知り、「やってみたい。私にもできるかしら」と興味を持った日のこと、応募にあたり志望動機について作文を書いたこと、46期生

の皆さんと初めて会った日のことなどが思い出されます。養成講座では各分野の専門の方々が講師になり、私たちにたくさん知識を与えてくださいました。ロールプレイ実習では思ったようには上手くできず落ち込むことも多々ありましたが、電話の向こうにおられる相談者の声を聴くために必要であったのだと感じています。

我々の受講期間中には二度の「まん延防止等重点措置」が要請されました。講義時間の変更や会場の感染防止対策などきめ細やかな配慮をしてくださいましたことに感謝しております。ちょうど今日、県内の「まん延防止等重点措置」は解除されるとのことですが、コロナ禍の不安が消え去る訳で決してありません。先日高校の卒業式に参列してまいりました。卒業生代表の生徒は語りました。「3年前、希望に満ちて入学式を迎えた日には、こんな高校生活が待っているとは思ってもみなかった。思

い描いていた青春とは全く違った。部活動、修学旅行、友との時間、いろんな物が奪われた。」行き場のない悔しさを滲ませていました。一方で「それでもできる限りの工夫をした。このような状況だからこそ得たものもあった。支えてくれた友人、恩師、家族に感謝したい。未来に向かつて歩みたい。」前向きな力強い発言もありました。会場内は全員がマスク、卒業の喜びはもろいですが、コロナとともに過ごさざるを得なかった苦悩の日々、先の見えない不安を生徒も保護者もかみしめていたのではないかと感じました。

我々はこの4月から、「金沢こころの電話」のメンバーに入れていただくことになりました。感染対策を行い、「コロナ禍にあっては変わらざるに寄り添う」活動を続けてこられた先輩方の後に続きたく志願し、養成講座を経て、今日の認定式を迎えました。しかしまだまだ未熟で、スタートラインに立ったばかりです。先輩方、引き続きご指導よろしくお願ひいたします。長期化するコロナ禍、こんな時だからこそ我々電話相談員が、悩みのある人、孤独の中にいる人に対して、電話を通してそばに

いる「友人」でいられますように。初心を忘れず、仲間と助け合い、末長く活動を続けていきます。(I・Y)

認定式を終えて ～46期生皆さんの一言です～

●無事研修を終え、認定式を迎えることが出来ました。相談員募集の記事を見てエントリーしましたが不安でいっぱいでした。それでもやり遂げられたのは、世話人の方々、何より仲間を支えられたお陰だと思えます。そして専門家の方々から伺う講義は大変興味深く新鮮でした。

認定授与式の時に村田会長より「つなぐ」という言葉を頂きました。私もここで出会った仲間達、そして諸先輩方と繋がり、相談員としての使命を果たして行くことができたいと思います。まだまだ未熟でスタートラインにやっとの思いで立ったところで、これからまた研鑽を重ね成長できるよう精進いたします。

●数年前から応募しようか、やめた方がいいか、どうしよう？私の一言がクライアントの大切な人生の一部分、もしかしてその後の人生に大きく関わることになったら・・・と大変不安でした。その反面、クライアントの話をお聞きすることで相乗効果で何かに気付き成長すると思いたらとの思いもありました。講義を聞いたり

ロールプレイを繰り返す内に皆さんから助けられて何とか終了することが出来、大変に感謝しております。さあ、これからが始まりです。わからないことは「ヘルプミー」で行きたいと思っておりますので、皆さんお願い致します。

●養成講座の研修プログラムでたくさんいろいろなことを学ばせていただきました。途中で何度か私には向いていないのではないかと、無理かもしれないと思うこともありましたが、一緒に学んできた皆さんのおかげで、なんとか今日の認定式を迎えることが出来たことに感謝しています。

これからは、相談員の一人として、誠実にそして正直に相談者の方に寄り添って、傾聴できるように努力していきたいと思えます。

●金沢こころの電話の相談員として、認定いただきありがとうございます。相談員への応募は、自分自身の今後の在り方について迷っていたときに、新聞記事を見たことがきっかけでした。最初の勢いはよかったです。第1課程、第2課程(次ページへ続く)

(前ページより)

程と進むにつれて、自分の性格では無理ではないかという思いと、せっかくならば与えられた機会を活かして続けてみようという気持ちで交錯している期間が過ぎました。

講座で会う同期の皆さんとの何気ない雑談を繰り返す中で、様々な形で助けていただき、今まで継続することができ、受講前とは変化している自分がいることに気付きました。

4月からは、手探りではありませんが、自分のスタイルを模索しながら、見えない電話の向こう側の相談者に寄り添い、正面から向き合えることができるよう努めてまいります。

●研修を続けていく中で、こんな自分が、金沢こころの電話相談に携わって良いのかと、何回も悩む場面がありました。人見知り、本当はもっといろいろな方とお話ししたいのにできない自分。研修中に会長からのお話の中で「自分を知ることが大切」とのお言葉がありました。研修を通して、自分とは何か。また、自分だからできることは何か。を考えられるようになったのは大きな成長でした。

金沢こころの電話の先輩方からも学ぶ機会をいただいたことも成長につながりました。ありがとございます。認定式に参加し、改めて、みなさんに感謝の気

持ちでいっぱいになりました。まだまだ学ぶべきことが多い自分ですが、近くにこんな人がいて欲しいと思える自分に成長していきたいです。

最後に、46期のみなさん、研修中はお世話になりました。一緒にいると気持ちが温かくなる皆さんと会えたこと、共に46期生になったことは自分の中で大きな自信になりました。こんな人見知りの私ですが、みなさんが大好きです。これからもよろしくお願ひします。

●夏の面接から始まり、年が明けてからの第2課程が終了し、無事に認定していただきました。これも世話人の方々はじめ金沢こころの電話相談の理事の方々や諸先輩方のおかげです。これからも



認定証の重みを感じつつ……

お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

●養成講座の研修を終え、無事スタートラインに立つことができました。ありがとございます。46期の皆さんと共に金沢こころの電話に参加できることを、とてもうれしく思います。傾聴や対話についてももっと学びたいです。気負わず、長く活動していきたいと思ひます。

●第1課程、第2課程。振り返ると、昨年夏から始まった研修課程では、会長さん他役員の皆様や、招へい講師の皆様、解りやすい資料の調整や夜半に及ぶご指導、ありがとございました。練り上げられたカリキュラム。振り返ると全てが会得できていない自分に気がつき、これからの対応に不安が膨らみます。機会ある毎に研修課程でのご教示いただいた相談者に誠心誠意寄り添い、傾聴に努めること等の努力を重ねて参ります。

先輩諸氏には、様々にご心配、ご迷惑をお掛けするかもと、不安の中にいます。一つ一つ課題を超える努力は、重ねてまいります。

●このたびは認定式を開催していただきありがとございます。コロナ禍の中で、さまざまな制限があつた研修期間でしたが、46

期生の皆さんと無事に認定式を迎えることができてホッとしております。そして、世話人の先輩方からの手作りのプレゼントなど、心温まるサプライズをいただき、心強い気持ちとなりました。ありがとございました。

ととなりますが、まだまだ勉強不足で不安の方が大きいのです。今後経験を積み重ねていきながら、自身の成長に繋げていけるように努めて参りたいと思ひます。また、46期生の皆さんや世話人の先輩方は頼もしく優しい方ばかりです。皆様と一緒にできるのを楽しみにしています。

2022年度 定時総会報告

日時 5月1日(日)13:30~17:00/会場 石川県社会福祉会館大ホール

参加者 35名(リモート出席含)、有効委任状 79名、併せて114名の出席者のもと、公益社団法人金沢こころの電話令和4年度定時総会が開催された。開催に先立ち、相談活動10年以上、当番回数200回以上の5名の会長表彰の授与式があり会長より感謝と慰労の言葉が述べられた。

総会では、議題である第1号議案「令和3年度事業報告・収支予算報告」について主として倫理綱領についての質疑が出され、理事会からの回答がなされた。続けて第2号議案「公益社団法人第6期役員選出」についての審議がなされた。第1号議案・第2号議案とも賛成多数により可決承認された。第6期会長には、村田 進、副会長には杉本末子、森田本淳、事務局長には得永篤子がそれぞれ就任した。

審議のあと、令和4年度事業計画・収支予算案が事務局長より報告がなされ、令和4年度の事業の充実を約束し、初めてのハイブリット方式(会場出席・リモート出席)の総会が終了した。



2021年度 賛助会費・寄附金 感謝報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

金沢こころの電話の運営のために温かい資金援助をいただきました。心から感謝しご報告いたします。
これからもご協力下さいますようお願い申し上げます。(敬称は略させていただきます)

【賛助会費】

○個人

池野裕子 石川誠子 泉 信次 伊藤美津子 今井宏和 上瀧 大 上田佳壽子 植松 茂 浦田早知・肇
岩崎 綾 遠藤陽子 大窪智子 大浜美映子 奥田栄美子 小野ツルコ 柿崎亜紗奈 柿崎謙一 角谷澄栄
加田玲子 金江正衣 加藤佐敏 河合隆平 川浦幸光 木越トヨ子 熊野ユリコ 粧谷倫子 窪田幸子
越島正喜・伸子 小林 啓 紺谷博子 財前貴代美 斎藤千代 坂本恭子 酒谷晴美 櫻井直子 佐宗 功
佐藤順子 柴野南津 下田葉子 助佐直子 高木要子 高倉万美 高澤タマエ 高地松美 高山静子 武田陽子
田島秀男 田中紹夫 橘 昌憲 田中千鶴 土家佳奈子 釣見民子 出口房子 寺井亮三 問谷元子 所田澄子
徳沢愛子 得永嘉昭 富田 寛 虎谷順子 直江茂行 永井由紀 中島章雄 永原伸一郎 中村 哲 長田幸子
新田由美子 能登準一 狭間千代子 浜田典子 針田典泰 平野 徹 広瀬照代 福岡恒忠 福岡晴美 福島 純
福島由貴 藤谷明子 藤間信乃輔 二宮葉子 細野昭雄 松井 繁 松見博史 松本れい子 水田美代子
宮崎洋子 宮村 泉 宮本敬子 宮本道子 宮本奈津子 宮森恵子 村本高志 室山昭子 八木雅夫 山口正雄
山野俊一 山村英子 湯浅佳子 吉川玲子 米田千映子 由水 充 渡辺美智子

○法人・団体

石川県織物構造改善工業組合 石川県織物工業協同組合 (公社)石川県看護協会 (一社)石川県経営者協会
石川県商工会連合会 (一社)石川県鉄工機電協会 金沢商工会議所 金沢原糸織物商業協同組合 加賀建設(株)
(医)浅ノ川桜ヶ丘病院 (医)長久会加賀こころの病院 (医)松原愛育会 (医)和田歯科医院
(株)久世ペローズ工業所 (株)大日製作所 (株)メル 技研(株) (株)東山商会 (株)小林太一印刷所
紺谷内科婦人科クリニック (有)桜谷設備企管 JA石川県連 (学法)白銀幼稚園 第一電機工業(株)
ダイヤ通信(株) (財)日本電信電話ユーザー協会石川支部 日蓮宗石川県第一部宗務所 (株)橋本清文堂
双葉ステンレス工業(株) ホクショー(株) 北陸学院中学校高等学校宗教部 妙応寺 司法書士 山本勝
(有)力丸医院 わせだクリニック

【寄付金】 奥田 宏 土田陽子 長尾紀久子 長澤裕子 村田 進
宮川昌江 山内ミハル 匿名の方々

※賛助会費の振込は下記口座へお願い致します。

▶郵便振替口座 00710-4-13987 「金沢こころの電話」



賛助会費・ご寄附等 合計 2,071,256円

おことわり

研修会などの報告は、広報部
会が依頼した会員が書いたも
のです。
内容については個人の解釈も
あることをご承知ください。

発行 公益社団法人
金沢こころの電話
事務局 〒920-0964
金沢市本多町3-1-10
電話 (076)222-7531
FAX (076)222-5352
http://kkd-ishikawa.jp/soudan
e-mail kkd@beach.ocn.ne.jp
編集 広報部会
印刷 (株)橋本清文堂

若葉薫る季節がやってきまし
た。新しい相談員を迎えて気持
ちが引き締まる思いです。46期
生の皆様からの言葉に「相談者
に寄り添って」という言葉がた
くさん見られました。
寄り添えてい
るか？いつも確
かめたいもの
です。
(記 K・A)



編集後記